

上棟式の参考例

上棟式は職人の慰労及び今後の工事の安全等を祈る意味で行われます。また、建築主と職人さんの意思疎通が良く行われるように考えられています。

最近の建売などではあまり行われなくなりました。

上棟式の形式が簡略化しています。特に都市部では工事業者の多くは車で現場に来ることが一般的なので、祝いのお酒を飲むことが出来ません。

このため、30分～1時間程度の時間で終了します。

1, 時間 3～6時頃頃から約1時間程度 時間は進行具合による

2, 場所 近くの料理屋又は現場（ 飲酒運転は厳禁 ）

3, 人数	設計事務所	社長、担当	2人
	建設会社	社長、監督、	2人
	大工等	棟梁等	5人
	鳶	頭等	2人
	クレーン		1人

計 12人

4, 料理等	{	折り詰め	3000円程度
宴会をする場合 人数分の		2号瓶（酒）	一本
		御菓子、又は記念品	1000円程度

5, 御祝儀 一般 3千円から5千円
 棟梁、頭、監督、社長等 1万から2万円
 祝儀袋はシンプルなもので同じものを用意します
 中身をわからないようにお願いします

6, 当日の進行

- 1) 始めに棟梁と建築主が塩とお酒で四隅の柱を清めます。（神主が居ない場合）
 塩・米を1カップ程度 酒はお祝いで他からもらいます
- 2) 建築主が挨拶（職人さん達に、建築主の顔を覚えてもらいます）
- 3) 宴会 つまみ、缶ビール2ダース、ジュース、お茶
 軽い食事（寿司、おでん等）
 紙コップ、箸、紙皿
 清めの塩、米1合
 つまみはあまり多くなくて良い
 日本酒はお祝いでもらうのでいらぬ
 乾杯のみで宴会を省略する場合があります
- 4) 閉めの挨拶 建設会社社長
- 5) 折り詰め御菓子、御祝儀を渡す